

平成23年度
一級建築施工管理技士
(実地試験)

問1、問2 解答参考例

問題1

あなたが経験した**建築工事**のうち、発注者からの要望や設計図書等で要求された品質を実現するために**品質管理活動**を行った工事を1つ選び、下記の工事概要を記入した上で、次の問いに答えなさい。

なお、**建築工事**とは、建築基準法に定める建築物に係る工事とする。ただし、建築設備工事を除く。

〔工事概要〕

- イ. 工事名
- ロ. 工事場所
- ハ. 工事の内容（新築等の場合:建築用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量
主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ）
（改修等の場合:建築用途、主な改修内容、施工数量又は建築規模）
- ニ. 工期（年号又は西暦で年月まで記入）
- ホ. あなたの立場

概要については平成18年度から同じ設問形式なので省略致します。

『平成18年度実地試験解答参考例』及び『経験記述のポイントテクニック集』を御参照ください。

1. 工事概要であげた工事において、あなたが現場で重点をおいた**品質管理活動**を2つあげ、それぞれ次の①から③について記述しなさい。（平成18年度類似問題）

ただし、2つの品質管理活動に関する記述の内容は、それぞれ異なるものとする。

- ①. 発注者からの要望や設計図書等で要求された品質を実現するため、現場で定めた施工に当たっての**品質の目標**を具体的に記述しなさい。
- ②. ①の品質の目標を達成するため、定めた**重点品質管理項目**と**定めた理由**を**工種名**とともに具体的に記述しなさい。
- ③. ②の重点品質管理項目について、品質管理のため**実施した内容**を具体的に記述しなさい。

解答例

品質管理活動その1

- ①. 躯体の耐久性の確保
- ②. 地震時等の建物の倒壊原因となる為(コンクリート工事)
- ③. コンクリートの調合計画の段階において「水セメント比」を出来るだけ小さくして中性化や塩害を防いだ。

品質管理活動その2

- ①. 躯体の強度の確保
- ②. 火災時の建物の倒壊の原因となる為(鉄筋工事)
- ③. 型枠に接するスペーサーはコンクリートと同質として規定以上にかぶり厚を確保した。

2. 工事概要であげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、次の①、②について簡潔に記述しなさい。

- ①. 現場作業所で品質管理活動を組織的に行うには、どのようにしたら良いと思いますか、あなたの考えを記述しなさい。
- ②. クレーム等のない、顧客の信頼を得られる建物を提供することは、施工者にとってどのような意味を持ちますか、あなたの考えを記述しなさい。(平成20年度類似問題)

解答例

- ①. 1人の現場担当者だけに任せるのではなく、設計図書に基づき、発注者の要望を十分理解して全体的に新しい技術・工法により施工すべきである。
- ②. 信用の獲得及び健全な営業活動の継続など、建設業を営む者としての社会的責務である。

問題2

建築工事において、次の1. から3. の仮設設備の設置計画に当たり、**留意又は検討すべき事項**をそれぞれ2つ、具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、申請手続き、届出、保守点検に関する記述は除くものとする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

1. ゲート(車両出入口)
2. 外部足場
3. 揚重機

解答例

1. ゲート

- ①交差点の近傍、交差点の多い場所を避けて設置する。
- ②扉の構造は引き戸又は内開きとする。

2. 外部足場

- ①足元は十分締固めて平らにし、敷板を敷いて足場を設置する。
- ②ベース金具を用い、脚部は根がらみを設ける。

3. 揚重機

- ①地盤の不同沈下を防止する為、重機の下に鉄板等を敷く。
- ②設置前にワイヤーロープの損傷の有無を確認する。